

公益社団法人青少年育成広島県民会議 主催

いただきます!ぶちうま継承プロジェクト

第一弾!「廿日市桶ずし」

令和3年12月12日(日)

場所:廿日市市中央市民センター

地域に伝わる「食」をみんなで味わいながら、その美味しさを育んだ地域の歴史も学び、子供たちの生きる力を伸ばすとともに、次の時代へ伝統文化を継承していこうというプロジェクトです。

主催の公益社団法人青少年育成広島県民会議では、この「いただきます!ぶちうま継承プロジェクト」を令和3年度から5年計画で進めており、今回の「廿日市桶ずし」がその第一弾となりました。

当日は、廿日市市内の小学生と保護者(13組26人)が参加されました。廿日市地区まちづくり協議会や廿日市商工会議所女性会のご協力を得て、廿日市の歴史や「廿日市桶ずし」の由来について学び、楽しく牛乳パックを活用した桶ずしづくり。試食の後、午後からは、はつかいち観光協会わかばの皆さんのご案内により、史跡等を散策し廿日市の歴史と文化の理解を深めました。



廿日市桶ずし。食文化として、廿日市の歴史に残る貴重なお寿司です。文化・文政(1800年)頃から脇本陣で作られ、宮島歌舞伎見学にも持参され、地方のお土産として広まりました。



廿日市の歴史・文化や「廿日市桶ずし」の由来について学びました。



楽しく桶ずしづくり。家庭でも気軽にできる手作り桶ずしを調理しました。



廿日市の歴史や文化を訪ねて廿日市市内の史跡等を散策して学びました。

更生保護ひろしま 第782号

昭和27年8月創刊 毎月1回1日発行 定価35円

編集発行 「更生保護ひろしま」編集委員会
広島市中区上八丁堀2-31
広島県保護司会連合会
☎(082)221-4496

本誌内すべての内容の無断転載および複製を禁じます。

料金後納
郵便

更生保護

ひろしま

第三種郵便物認可
昭和33年3月30日
毎月1日発行

第782号

令和4年
2月1日発行

ローソンちゃん
(女の子・雑種)

📷 川岡 心さん
(廿日市地区保護司会)

7年前コンビニで保護しました。鼻の下の模様がチャームポイントです。



目次

- 令和3年度第3回広島県保護司会連合会常任理事会…………… 2
- 令和3年度広島県保護司会連合会と広島県更生保護女性連盟との連携協議会…… 3
- 第71回“社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト表彰式…………… 4
- 「人と犬について」(呉地区保護司会 月原廣政 氏)…………… 6
- いただきます!ぶちうま継承プロジェクト(廿日市桶ずし)…………… 8



広島保護観察所

勤務時間外における緊急連絡先

夜間・休日等に事件関係等で緊急に連絡を取りたい場合は下記に御連絡願います。

・保護観察事件等 090-8990-3261
・保護司関係 090-2861-7175

令和3年度
第3回

広島県保護司会連合会 常任理事会

令和4年1月13日(木) ANAクラウンプラザホテル
広島において、令和3年度第3回広島県保護司会連合会常任理事会が開催されました。広島県保護司会連合会八崎則男会長の挨拶に始まり、広島保護観察所山田浩司所長の来賓挨拶ののち、下記の議題が上程され、全ての議案が承認されました。

その後、広島保護観察所、広島県保護司会連合会より連絡・報告事項があり、常任理事会は滞りなく終了しました。

議 題

- (1) 令和3年度事業経過報告について
- (2) 令和3年度収支進捗状況報告について
- (3) 令和3年度広島県更生保護功労者顕彰式決算報告について
- (4) 令和4年度広島県更生保護功労者顕彰式について
- (5) 第72回“社会を明るくする運動”モデル地区大会について
- (6) 名誉会員の推薦について
- (7) 機関紙更生保護ひろしま70年誌発行について
- (8) 広島県保護司会連合会ホームページについて

日時: 令和4年1月13日(木)
場所: ANAクラウンプラザホテル広島



広島県保護司会連合会 八崎則男会長



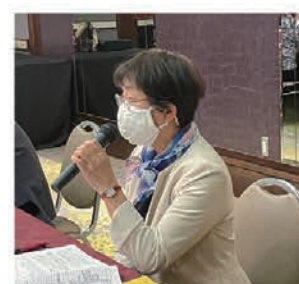
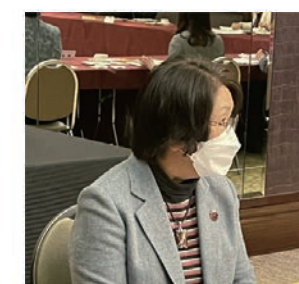
広島保護観察所 山田浩司所長

副会長
西田 英治
(安佐南保護区)副会長
渡邊 繁雄
(廿日市保護区)常任理事
山口 厚司
(南保護区)常任理事
田坂 健爾
(府中保護区)広島保護観察所
久保 和慎
企画調整課長常任理事
西田 志都枝
(東保護区)常任理事
曾川 恵二
(中保護区)常任理事
高藤 忠之
(東広島保護区)常任理事
村上 俊昭
(尾道保護区)常任理事
長谷川 尚徹
(安佐北保護区)

※能美直哉副会長、本宮達弘副会長、久保宏隆常任理事は欠席のため掲載しておりません。

広島県保護司会連合会と
広島県更生保護女性連盟との連携協議会

広島県更生保護女性連盟 織建末子会長

副会長
山田 陽子
(西保護区)副会長
西 民恵
(広島安芸保護区)副会長
迫越 知子
(呉保護区)副会長
正木 千恵子
(大竹保護区)常任委員
宇恵 一枝
(広島佐伯保護区)書 記
谷 弘子
(安芸保護区)

広島県保護司会連合会常任理事会終了後、広島県更生保護女性連盟との連携協議会に移りました。広島県保護司会連合会八崎則男会長、広島県更生保護女性連盟織建末子会長の挨拶に続き、広島保護観察所山田浩司所長の来賓挨拶がありました。

広島県保護司会連合会から下記の議題についての説明がなされ、コーヒブレイクをはさみ、広島県更生保護女性連盟の各部会から活動報告がありました。今後も保護司会、更女、BBS会三者合同協力体制の推進を念頭に置き、活動に取り組むよう確認がなされました。

- 議 題 (1) 令和4年度広島県更生保護功労者顕彰式について
(2) 第72回“社会を明るくする運動”モデル地区大会について



広報活動として機関誌「パラソル」、
「ひまわりフォトレーター」を発刊。

coffee
break

※竹井春江常任委員、藤井栄子常任委員は欠席のため掲載しておりません。

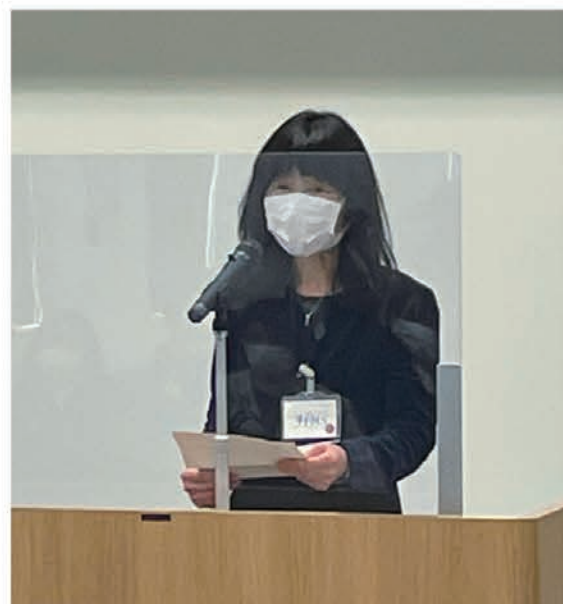
第71回“社会を明るくする運動”

作文・標語コンテスト表彰式



日時：令和3年12月23日（木） 場所：広島保護観察所研修会議室

令和3年12月23日（木）広島保護観察所において、第71回“社会を明るくする運動”作文・標語コンテスト表彰式が開催されました。広島県推進委員会委員長（広島県知事）代理 広島県環境県民局 新宅郁子局長の挨拶の後、各表彰伝達が行われました。



第71回“社会を明るくする運動”
広島県推進委員会委員長（広島県知事）代理
広島県環境県民局 新宅 郁子局長



（写真左より）広島県保護司会連合会 八崎則男会長、広島保護観察所 山田浩司所長、広島県更生保護女性連盟 幟建末子会長、広島県環境県民局新宅郁子局長、更生保護法人広島県 松藤研介理事長



日本更生保護協会理事長賞



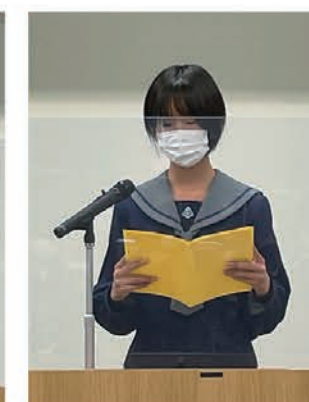
まつやま はづき
松山 葉月さん
（福山市立神辺小学校5年生）
より良い今を重ねて

日本更生保護女性連盟会長賞



うえもと さな
上本 沙南さん
（東広島市立磯松中学校3年生）
『勇気をくれよ』から祖父に学ぶ

表彰後には、日本更生保護協会理事長賞受賞の松山葉月さん（福山市立神辺小学校5年生）、日本更生保護女性連盟会長賞受賞の上本沙南さん（東広島市立磯松中学校3年生）の朗読発表がありました。今年度もたくさんのご応募ありがとうございました。



更生保護 ひろしま 号外

◎作文・標語コンテストの入賞作品は、
令和4年1月1日発行の「更生保護ひろしま
号外 第71回“社会を明るくする運動”作文・
標語コンテスト入賞作品集」をご覧ください。



月原さんの南極体験記

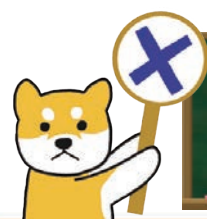
人と犬について

月原 廣政 氏
(呉地区保護司会)

南極 昭和基地 (昭和54年2月1日撮影)

今回は、人間と暮らし始めた最も古い動物として犬について話します。犬はもともと野生動物で、人が飼い慣らし家畜化していました。人が犬と暮らすようになったのは約15,000年前頃と言われています。我が国でも狩猟生活していた縄文時代の人々が犬を大切にしていたことが記されています。現在、犬は人間を助けるため、様々なところで活躍しています。

盲導犬(目の不自由な人の生活手助け)や介助犬(身体に障害ある人の生活を助ける)、その他にも警察犬、足跡追求犬、臭気選別犬、探知犬、麻薬探知犬、山岳救助犬など、特殊な訓練を受けた犬たちが活躍しています。

犬に与えては
いけない食べ物

チョコレート



チョコレートに含まれている
テオブロミンという成分が
中毒症状を引き起こします。

ネギ類

(玉ねぎ、ニンニク、ニラなど)



ネギの成分、アリルプロピル
ジスルフィドが犬に溶血性
貧血を引き起こします。



鳥の骨

鳥の骨は縦に割れやすく、細く
鋭利な形状になり、食道や胃、腸
を傷つける可能性が高まります。

牛乳



分解されずに腸に刺激を与
え、下痢や消化不良を引き
起こします。

また、皆さまにもっと犬を大切にしてい
だきたく、犬に与えない方が良くとされる食
べ物について紹介します。

1つ目は、チョコレートです。チョコレートに
含まれるテオブロミンという成分で中毒を引
き起こします。

2つ目は、ネギ類(ネギ、タマネギ、ニンニク
ニラなど)です。ネギ類に含まれる成分が犬の
赤血球を溶かし、貧血を引き起こします。

3つ目は、鶏の骨です。噛み砕くとささくれ
状に割れてしまい、消化管支障の原因となり
ます。次に牛乳です。牛乳には、乳糖(ラクトー
ス)という成分が豊富に含まれています。です
が犬は、この乳糖を分解する「ラクターゼ」と
いう消化酵素が少なく、乳糖の分解が難しい
ため、小腸で乳糖の消化吸収がスムーズに行
われず、下痢をしてしまうことがあります。

その他には、キシリトール、アボカド、たけの
こ、ぶどう等は良くないと言われております。

第一次南極観測隊に同行し、悪天候のため、昭和
基地に取り残されるも、一年後に奇跡的に生存して
いた「タロとジロ」を含む二十二頭の樺太犬につい
ては読者の皆様は良くご存じのことと思います。

第六次隊で昭和基地は閉鎖されましたが、第七次
隊が再開され、南極観測船は「宗谷」から「ふじ」に
引き継がれた際、二頭の樺太犬「ブルとホセ」が乗り
込み昭和基地に向かいました。その後、「ブル」は他
界、「ホセ」一頭が昭和基地で生活しました。

第十六次南極観測支援で参加した際、「ホセ」と
初対面、私は自身に与えられた食料を「ホセ」に持
参すると、たいそう喜んで美味しそうに食べていました。ブリザード(激しい吹雪)後に「ホ
セ」に面会に行くも、姿見えず、大声で「ホ～セ」と呼ぶと雪の中から「ホセ」が巨体を表し、
嬉しそうに駆け寄って来たことが鮮明に蘇ります。

越冬隊員(KK東条会館調理)から、「ホセ」はオーロラを見ると、天空に向かって遠吠え
をするんです、と云われたことが印象にあります。「ホセ」は昭和基地、最後の樺太犬です。
(現在は、南極条約で犬等、外来動物は持ち込めません。)

読者の皆様に少しでも知っていただければ「ホセ」の喜ぶ顔が浮かびます。
ご一読、有り難うございました。

昭和基地、最後の樺太犬「ホセ」
画/月原廣政

月原氏 昭和基地にて「ホセ」とともに